

日本ユニシスグループのCSR

ISO26000の中核主題と日本ユニシスグループのCSRへの取り組み

2012年度のCSR活動の現状を把握するために、ISO26000の中核主題に沿って日本ユニシスグループでの課題および取り組みを網羅的に整理したものが以下の表です。2013年度にはこれらの課題と取り組みを「CSR実務者会議」を中心に詳細に検討し、重要項目を絞り込んだうえで、目標策定を進めていきます。

主題	日本ユニシスグループでの課題	日本ユニシスグループの取り組み	
1 組織統治	トップ・コミットメント	企業理念で、すべての人たちとともに、人と環境にやさしい社会づくりに貢献することを宣言	
	CSRマネジメント	上席専務を委員長とするCSR委員会にてCSR活動の方針を決定し、実行の指揮・監督を行う。2013年度からCSR委員会のもとにCSR実務者会議を設置し、担当者レベルでISO26000の中核主題・課題に呼応する自社の重要項目を絞り込み、目標を策定し実施につなげる。次年度初めに進捗を報告し、次の目標策定に反映 事実即した偏りのない情報提供 (GRI3.1 参照)	
	コーポレート・ガバナンス	各種意思決定委員会の設置 / 運営 ●コンプライアンス委員会 ●リスク管理委員会 ●総合セキュリティ委員会 ●環境推進事務局 ●CSR委員会 社外取締役、社外監査役の設置 企業理念、企業行動憲章の策定(改訂)	
	コンプライアンス	コンプライアンス教育の実施 コンプライアンス週間の設定 内部通報制度(相談窓口)の設置・周知	
	リスク管理	リスク管理委員会の運営 情報関連リスク、製品・商品・サービスリスク、災害・事故リスク(犯罪・被害リスク)、環境リスクの管理	
	ステークホルダーとの対話	情報開示体制(Web、ニュースリリース)の整備 株主投資家向け情報開示 投資家とのIRミーティングの実施 報道関係者との懇談会実施	
	BCP/BCM	災害時の意思決定体制の確立。社員、家族、地域の安全確保のための活動実施	
	2 人権	人権の尊重・差別の禁止	企業行動憲章の策定(改訂) マネジメント研修にて人権啓発の研修の実施 内部・外部通報制度(相談窓口)の設置 サプライチェーンでの人権配慮(性差別、障がい差別の禁止)
		労働組合	労使協議の実施
		人材育成	新人教育、OJT、Camp(高い志をもったマネージャとプロフェッショナルを育成するための人材育成プログラム)、AirCamp(スマート端末を利用したeラーニング)、通信教育、資格取得推進、プロフェッショナル認定制度の実施 キャリア自己申告制度とオープンeジョブ制度の運用 新人研修にてCSR概論の研修の実施 社内講演会・セミナーにてCSR、コンプライアンスに関する啓発
3 労働慣行	ダイバーシティ推進	性差別のない雇用、昇格・育成(女性活用) 障がい者の雇用および働く環境の整備(盲導犬利用社員のサポート) キャリアデザイン施策の設計と運用 雇用延長(高齢者雇用)の活用 実業団スポーツ選手引退後の人材育成	
	多様な働き方の支援・ワークライフバランス推進	ワークスタイル変革(在宅勤務、テレワーク)の推進 育児両立/介護両立支援 ワークライフバランス風土醸成のための活動(育児休職者情報交換会、子育て座談会、夏休み子ども参観日)実施 ダイバーシティ・ワークライフバランスを理解する風土醸成のセミナー実施 社員の自立的な社会貢献活動の支援(社会貢献活動休暇/休職) 社員が主体的に運営する社会貢献クラブ「ユニハート」活動の実施	
	社員の健康・安全	労働安全衛生の推進(勤怠労働管理指導) 健康診断、健康相談・指導(社内診療所)の実施 メンタルヘルス問題への対策実施 BCP 施策の立案と実施(社員安否確認訓練、災害対策本部設置、徒歩帰宅訓練、自衛消防隊、防災備品準備、在宅勤務)	
	コミュニケーション	2013年度にモチベーション調査を実施 コミュニケーションデー(経営層と社員の交流会)の月例実施	

※表中、■色のついた内容は、ICTを活用した本業での共有価値創造をめざした取り組み

主題	日本ユニシスグループでの課題	日本ユニシスグループの取り組み
4 環境	環境マネジメントシステム(EMS)の推進によるCO2削減、節電	環境マネジメントシステム(EMS)の推進 ISO14001 認証取得 グリーン調達ガイドラインの制定と遵守
	持続可能な資源の利用	含有化学物質管理システム グリーン調達マイスター*
	気候変動問題の緩和および適応	①クラウドやデータセンター利用による省電力 ②電気自動車やプラグインハイブリッド車向け充電インフラシステムサービス smart oasis* ③節電に貢献するエネルギー系ソリューション(BEMS、HEMS、MEMS) ④CO2排出権取引の実証実験
	オフィススペースの削減や交通機関利用の削減によるCO2排出量の抑制	ワークスタイル変革を促進するソリューション(SASTIK*、AirTriQ*、NeXtCommons*、ICT 仮想デスクトップサービス、Web会議、ビデオ会議など)を提供してテレワークの普及推進
5 公正な事業慣行	情報セキュリティ	ISMSの取得 情報セキュリティポリシーの徹底、教育、運用 情報システムに関する内部監査実施 情報システムに関する外部監査実施
	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	ビジネスパートナーとの対話 ビジネスパートナーとの公正な取引の強化 グリーン調達ガイドラインの制定と遵守
	知的財産の保護・管理	著作権管理、商標管理、特許申請、アイデア・ノウハウの保護
	製品・サービスの品質保証	品質保証マネジメントシステムISO9001の導入
6 消費者課題 (お客さまへの配慮)	個人情報保護の徹底	情報セキュリティポリシーの徹底、運用
	顧客満足度向上	顧客満足度調査の実施、結果の分析と活用 ユーザー会「ユニシス研究会」の運営支援 コールセンター(窓口)の設置。顧客の声の分析と活用
	システムトラブルへの対応	お客さまのシステムトラブルへの対応
	BCP/BCM	災害時の事業継続とお客さまのシステム復旧計画の策定 災害対策本部体制の確立 データセンター事業(顧客のデータ保護、バックアップによるBCP対策)の実施 災害時事業継続のための「U-Cloud* IaaS DRサービス」の提供(クラウド型ディザスタリカバリ)
7 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	次世代の教育、育成(地域/国レベル)	e-ネットキャラバン(ケータイやパソコンの安心・安全な使い方講座)の講師育成講座を社内実施 講師認定を受けた社員をe-ネットキャラバン講師として依頼団体に派遣(社員の社会貢献活動支援) 日本ユニシス実業団バドミントン部の選手による地域の小中高生へのスポーツ指導・教育・振興実施 高度ICT人材を育成し、国の国際競争力を維持向上するための、総務省「遠隔地間における実践的ICT人材育成推進事業」に係る調査研究を実施
	社会貢献活動	社員が主体的に運営する社会貢献クラブ「ユニハート」活動の実施 社会貢献クラブ「ユニハート」寄付先(NPOなど)とともに、社員がICTを活用したボランティア活動を行うことを支援 社員が、視覚障がい者のコンサート会場までの往復同行、会場での誘導、コンサート鑑賞をサポート 地域清掃活動(豊洲本社、各地支社において他企業などとの合同清掃)実施
	コミュニティへの参画	江東区社会貢献ネットワーク「こらぼら」に参加 地域のイベント(豊洲フェスタなど)への参加を通じて地域の子ども、若者の育成に寄与 社員の社会貢献マインドの醸成 社会貢献クラブ「ユニハート」寄付先(NPOなど)との対話
	東日本大震災被災地支援	人材派遣(岩手県上閉伊郡大槌町への技術者社員派遣) 社会貢献クラブ「ユニハート」による寄付、販売会、意見交換会などの継続実施
新たな社会基盤づくり		コミュニティに貢献するソリューション(NextVision プロジェクト、地域医療連携ネットワーク、クラウド型住民情報系サービス CivicCloud*、東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイトなど)の提供 防災ソリューション(クラウド型危機管理情報共有システム SAVEaid /セーブアイド*)の提供
	少子高齢化、女性活用、BCPなどの社会的課題	ワークスタイル変革を促進するソリューション(SASTIK、AirTriQ、NeXtCommons、ICT 仮想デスクトップサービス、Web会議、ビデオ会議など)の提供